

災害廃棄物処理計画に関する アンケート結果

平成 27 年 11 月

徳島市市民環境政策課

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

徳島市では、南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の教訓を踏まえた対策に取り組んでいます。その中で、災害時に発生する廃棄物の処理が大きな課題となることから、「徳島市災害廃棄物処理計画」をこの度作成することとなりました。

このアンケート調査は、災害が原因で発生したごみの処理や被災時の生活ごみ・し尿の排出・処理に関することについて、市民の皆様が日頃お考えになっていることをお伺いし、計画に反映させることを目的に実施しました。

(2) 調査の設計

アンケート調査対象	調査対象の抽出方法	調査方法	調査期間
徳島市内に住所を有する（住民基本台帳に登録されている） 3,000 人の方々	18 歳以上の世帯主から無作為に、地域人口割合に配慮して抽出	郵送配布 郵送回収	平成 27 年 10 月 1 日 ～10 月 12 日

(3) 回収結果

調査対象数 (A)	3,000
回収数 (B)	1,229
回収率 (B÷A)	41.0%

(4) 報告書の見方

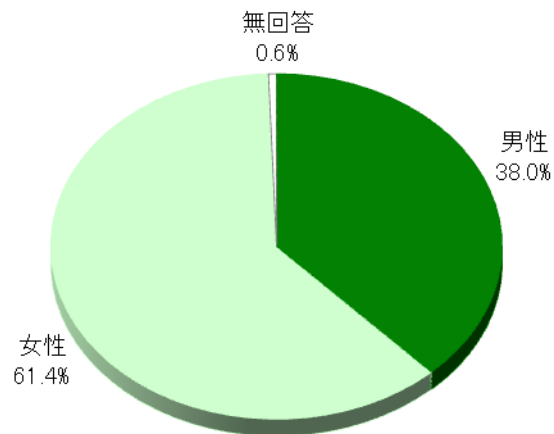
- 1) 回答は、各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率で示すことを基本としました。
百分率は、小数第二位を四捨五入しています。
- 2) 本アンケート調査は、各質問において示された選択肢から 1 つを選ぶ方法を採用しています。
- 3) 比率の合計は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、100.0%にならない場合があります。
- 4) アンケートの選択肢の項目は、報告書のグラフ等では意味を損ねない程度に短縮して示している場合があります。

2. 市民アンケートの調査結果

(1) この調査にご回答いただく方について

1) 回答者の性別

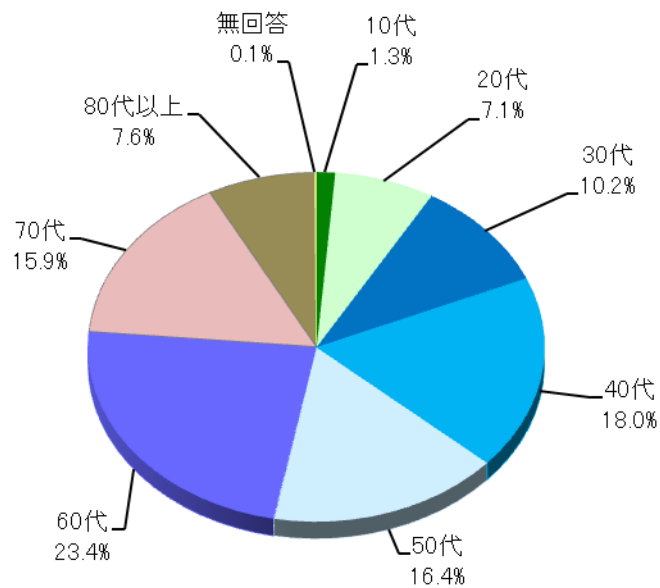
回答を得た1,229人の回答者の性別は、男性が38.0%、女性が61.4%です。



2) 回答者の年齢

回答を得た1,229人の回答者の年齢は、10代が1.3%、20代が7.1%、30代が10.2%、40代が18.0%、50代が16.4%、60代が23.4%、70代が15.9%、80代以上が7.6%です。

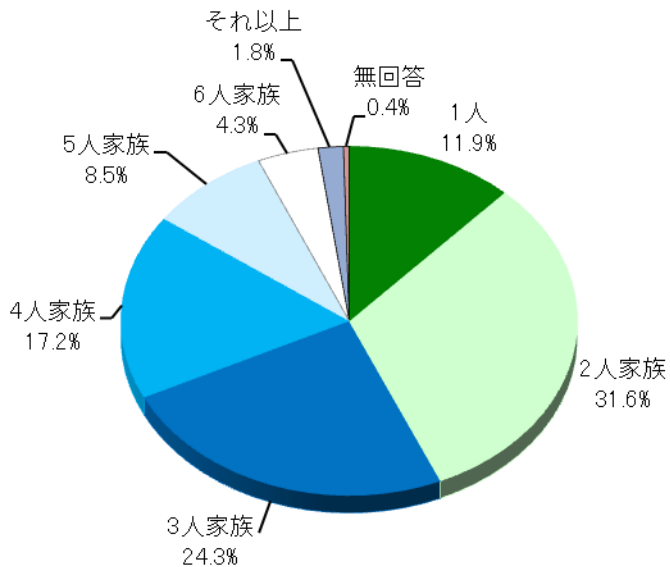
回答者の年齢では50代以上で全体の過半数を占めています。



3) 回答者の世帯人数

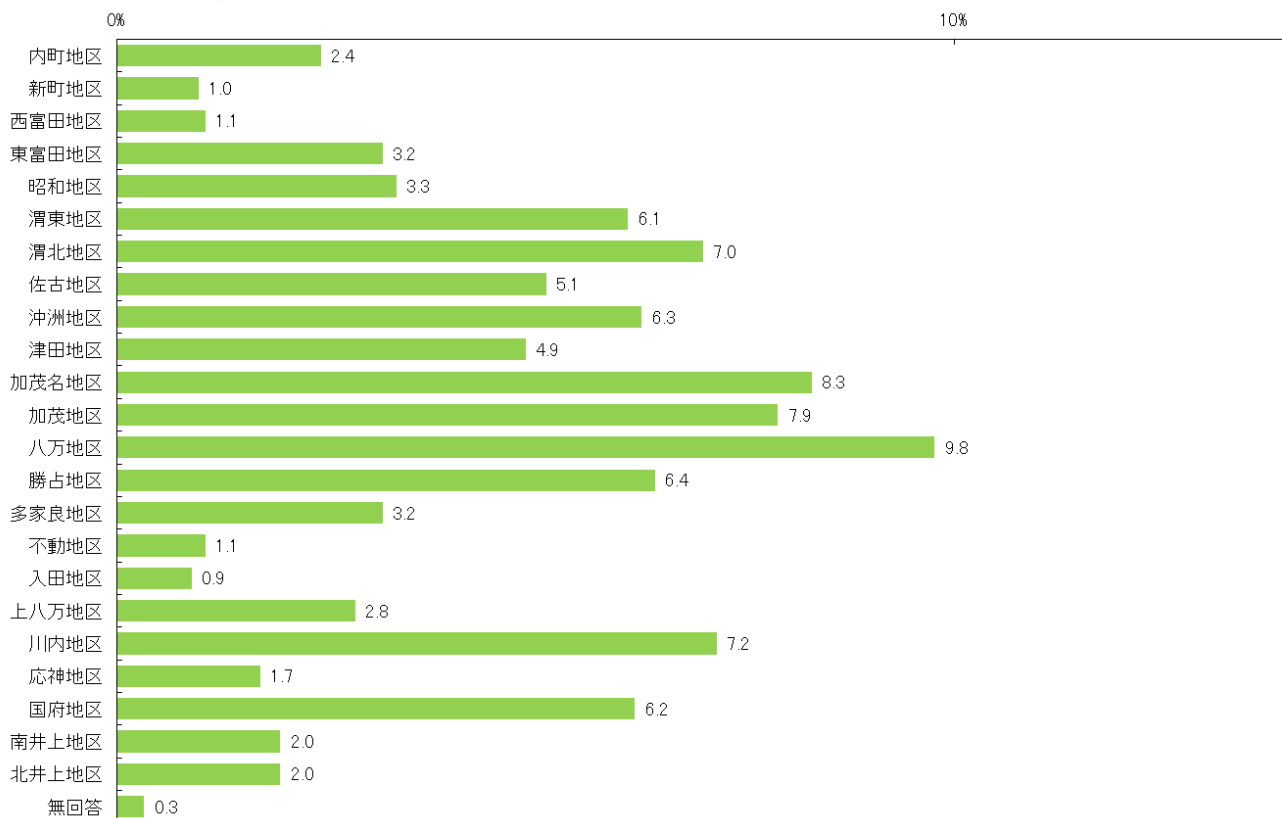
回答を得た 1,229 人の世帯人数を見ると、1 人暮らしが 11.9%、2 人家族が 31.6%、3 人家族が 24.3%、4 人家族が 17.2%、5 人家族が 8.5%、6 人家族が 4.3%、それ以上が 1.8%です。

2 人家族が最も多く、全体の 3 分の 1 を占めています。



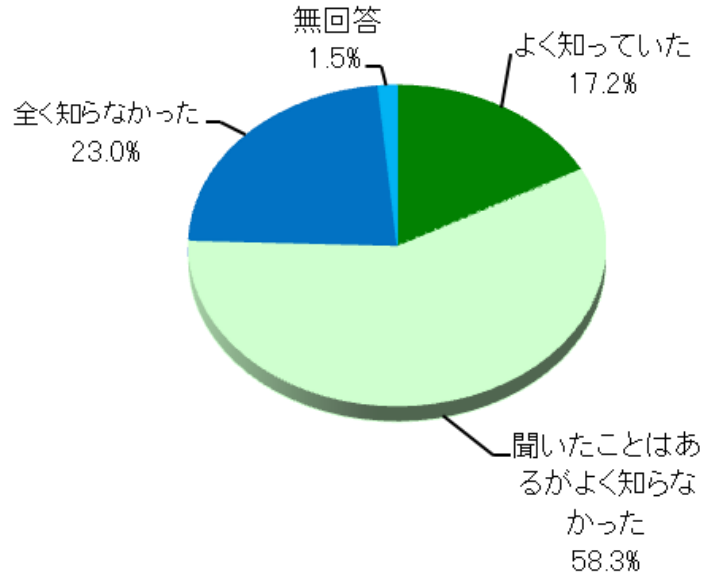
4) 回答者の居住地区

回答を得た 1,229 人の居住地区を示します。

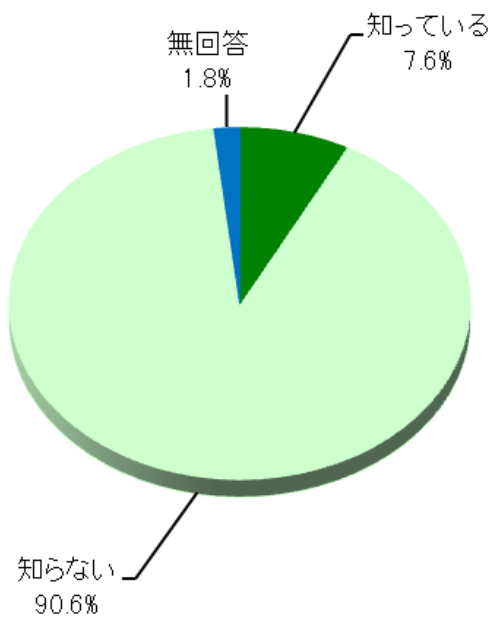


(2) 災害廃棄物処理計画の策定について

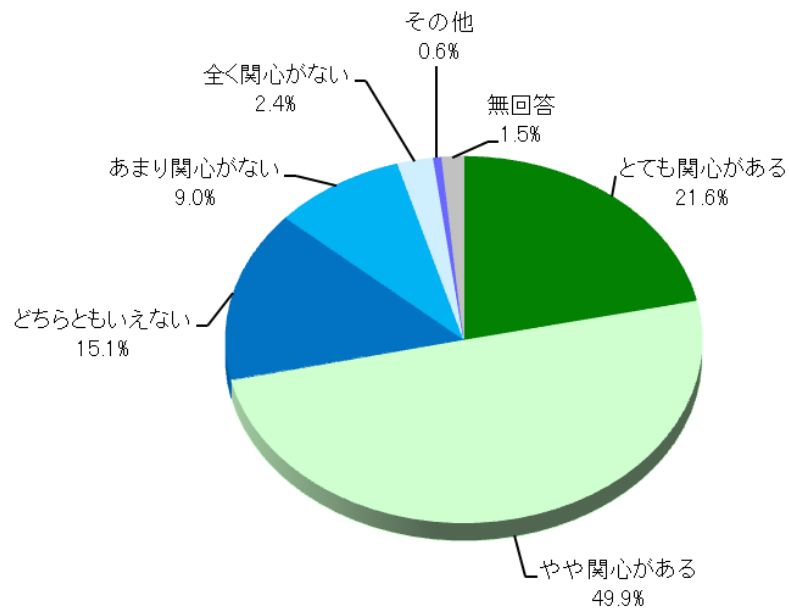
1) あなたは、このアンケートに回答するまで、地震などの災害が起こった際に発生する「災害廃棄物」の問題についてご存知でしたか。



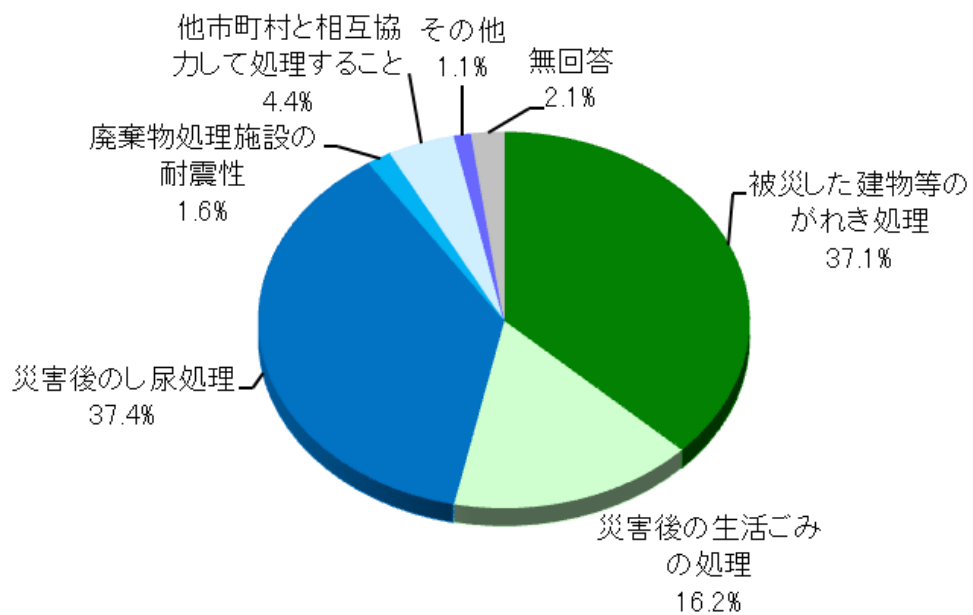
2) あなたは、徳島県が南海トラフ大地震などの災害時に発生する災害廃棄物の処理について定めた「徳島県災害廃棄物処理計画」を策定していることをご存知ですか。



3) あなたは、徳島市が災害廃棄物処理計画を策定することについて、どの程度関心を持っていらっしゃいますか。



4) 災害が発生した際の廃棄物の処理に関して、あなたが最も不安に感じておられたり、問題意識を持っていらっしゃることをお答えください。



5) 災害廃棄物処理計画の策定について、特に重点を置くべきだと思われる点をお書きください。

(いただいたご意見を抜粋して掲載します。文面については、できるだけそのまま掲載していますが、意味を損ねない程度に修正して掲載している場合があります。)

○処理方法等に関するご意見

- ・処理スピード。5W1Hでどう動くのか決めておくのが一番。
- ・廃棄物の収集方法。瓦礫等は個人で指定の場所へ運ぶのか、あるいは市の車が収集に来てくれるのか。
- ・廃棄物に関しては、速くよりも、慎重に処理をして欲しい。
- ・廃棄物処理施設の耐震性はもちろんの事、災害後の尿処理等の処理方法など。

○仮置場及び処理場等に関するご意見

- ・仮置場の場所と災害後の交通アクセス。
- ・早急に収集方法や仮置場を決めておくべきだと思う。
- ・廃棄物処理をする上で、受入地区の風評被害が気になる。
- ・災害の程度により処理場所の選定。処理場所地域住民の説得。(必ず反対が出る。)
- ・茨城県の例を見ても廃棄物処理の大変さが良く解ったので置き場所の確保、運び出しの方法(お年寄りは大変なので)分別とかだと思う。
- ・災害廃棄物の仮置場や処理施設が、市民の生活に影響を与えないよう考慮すること。(運搬に関しても同様。)

○衛生(し尿等)に関するご意見

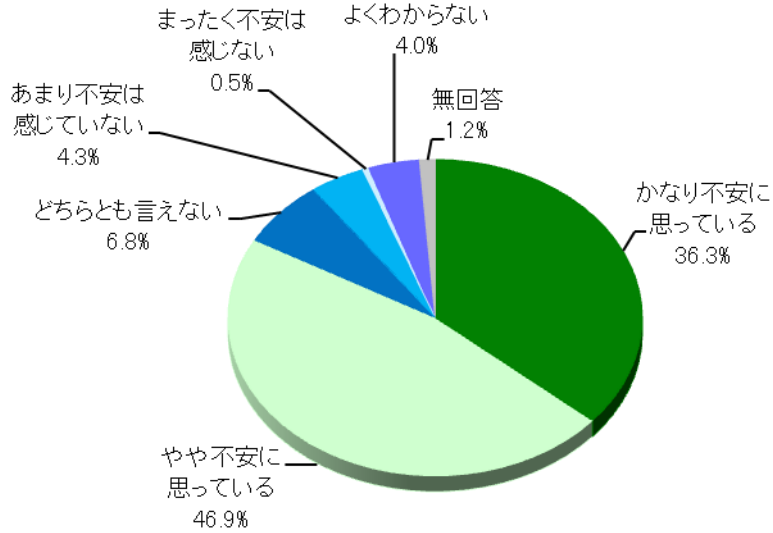
- ・生ごみや排泄物など臭いのあるものの処理方法。
- ・廃棄物の処理を急ぐあまり、不適切な処理方法により環境汚染が生じること。
- ・避難場所での生活環境の衛生状態が悪化しないようにする。仮設トイレを多く設置する。
- ・し尿処理や環境や人体に影響が出るような化学物質の迅速な処理。衛生面に重点を置くべきだと思う。
- ・災害後のトイレの問題はよく検討して下さい。がれき処理は多少後回しになっても仕方がない。また、がれきやごみは問題にされているが、トイレが少し軽く扱われていると思う。

○全般的な事項に関するご意見

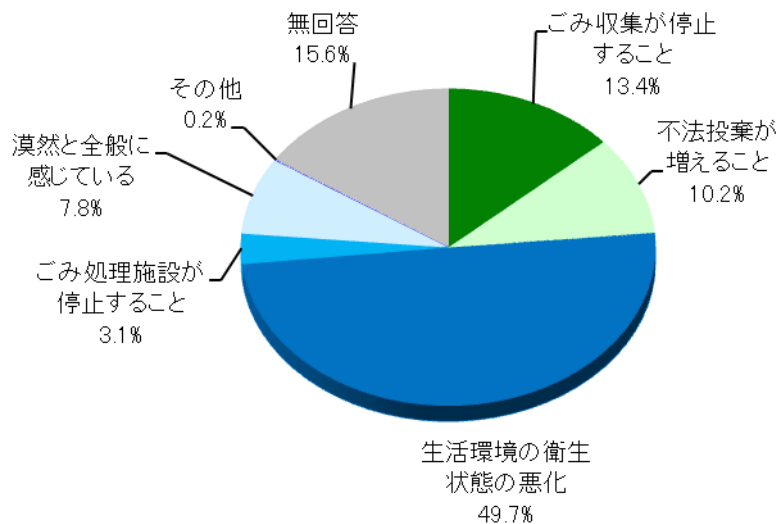
- ・住民説明が何より重要。
- ・よく知らない人が多数いると思われるので、家庭全部に処理計画を知ってもらおう。
- ・県との連携や広域市町村間の助け合いが不可欠と思う。
- ・亡くなる方も多いと思うので、写真や記念の物、現金、貴金属、金庫等ができるだけ元の所有者に戻るよう努力してほしい。
- ・個人資産もあるので無差別に廃棄すると問題があると思う。
- ・被災した場合、お互いに協力して譲り合いの精神でと思っているが、まずその場になると皆、自分がと考えるだろう。でも、町内、自治体の協力のもとですべきだと思う。
- ・直後、中間、一か月後と言うように時間(日数)に分けて最重要点を変えて計画してほしい。

(3) 災害発生後の生活ごみや避難所ごみの処理について

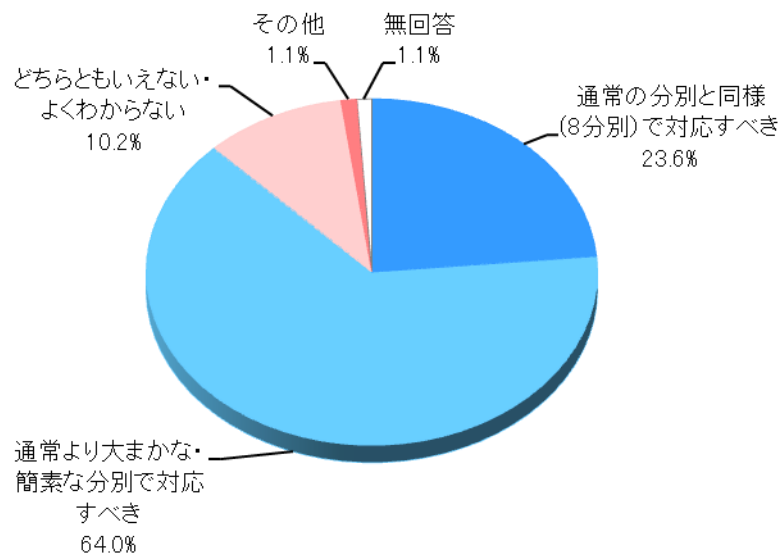
1) あなたは、災害が発生した後の家庭や避難所での生活の中で生じるごみの処理について、不安を感じたことはありますか。



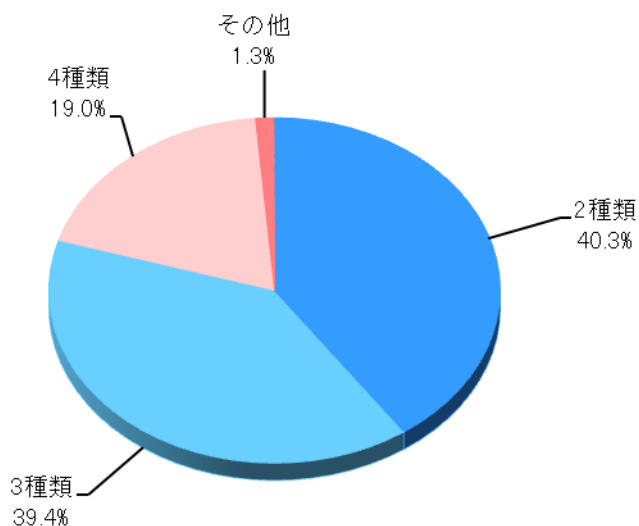
2) 上記1)の質問で「かなり不安に思っている」または「やや不安に思っている」を選んだ方におうかがいします。災害発生後の生活ごみの処理について不安を感じる点は主にどこですか。



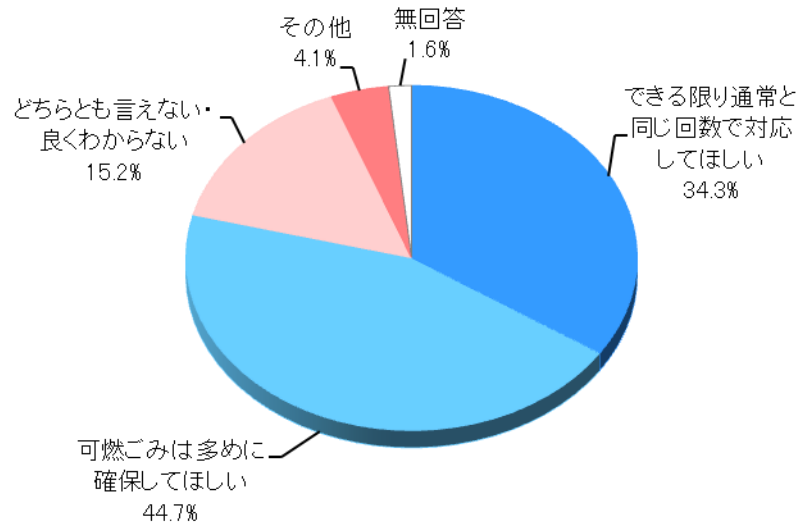
- 3) 災害発生後の家庭や避難所で発生する生活ごみの分別方法について、おうかがいします。
あなたは、このような生活ごみの分別方法について、どの程度徹底するのが望ましいとお考えですか。



- 4) 上記3)の質問で「通常より大まかな・簡素な分別で対応すべき」を選んだ方におうかがいします。あなたが適正だと思う分別数(有害ごみを除く)はどの程度ですか。

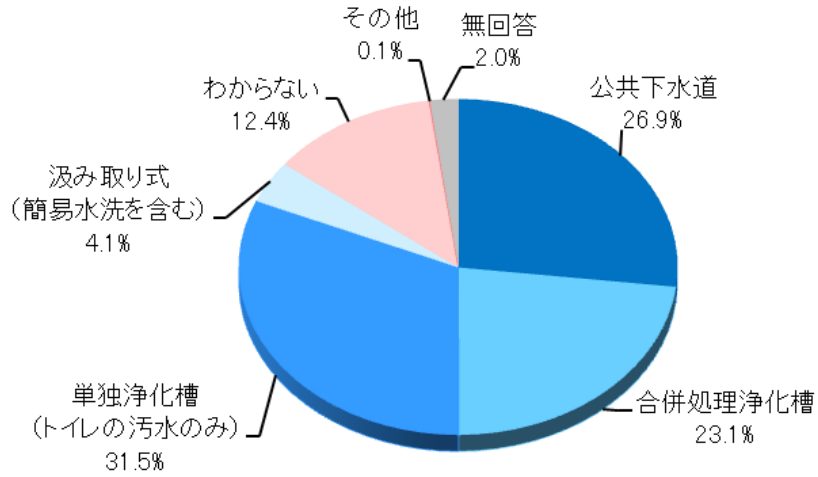


- 5) 災害発生後の家庭や避難所で発生する生活ごみの収集回数について、おうかがいします。
災害発生直後は、ごみの収集体制が平常どおり確保できない可能性が想定されますが、あなたは、
このような場合、収集回数をどの程度確保すべきとお考えですか。

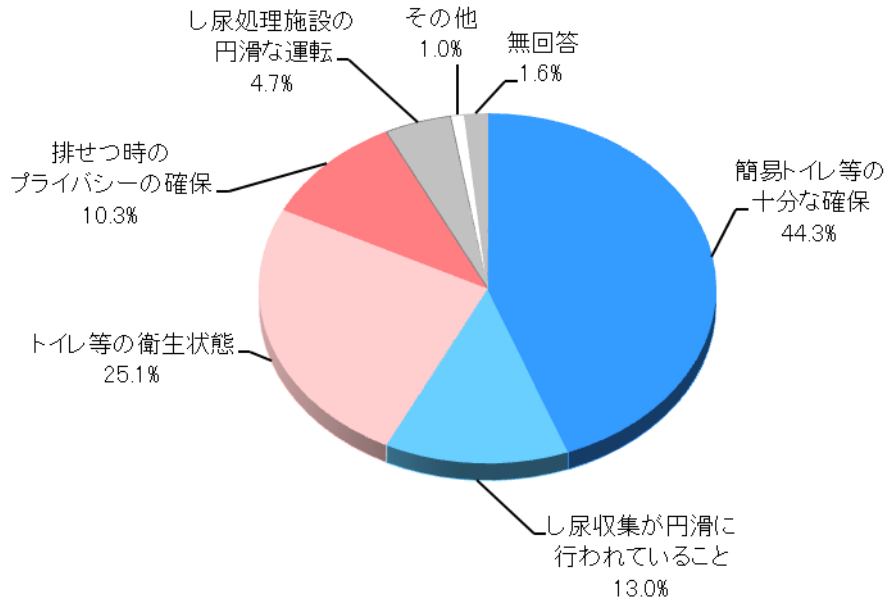


(4) 災害発生後のし尿の処理（トイレの問題）について

1) 現在、あなたのご自宅（マンションやアパートを含む。）の生活排水の処理方法はどのような方法ですか。



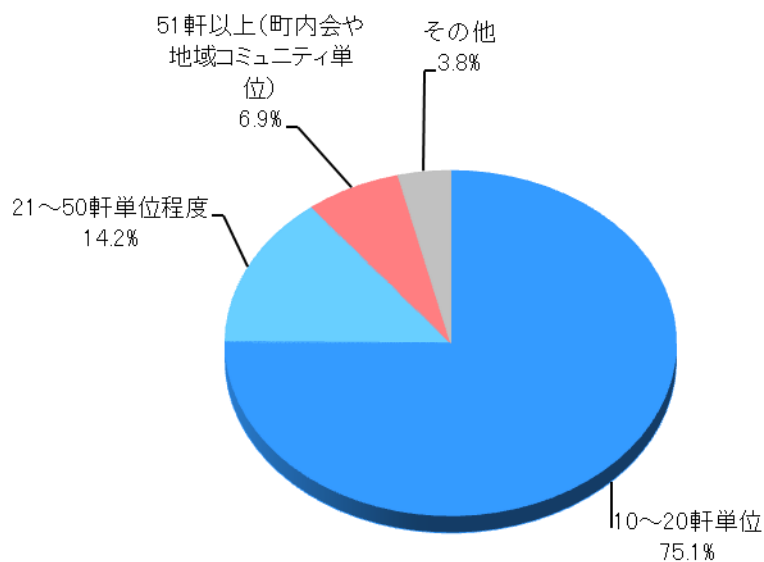
2) 災害発生後のし尿の処理について、あなたが最も重要だと思われる点は主にどこですか。



3) 前質問2)で「簡易トイレ等の十分な確保」を選んだ方におうかがいします。

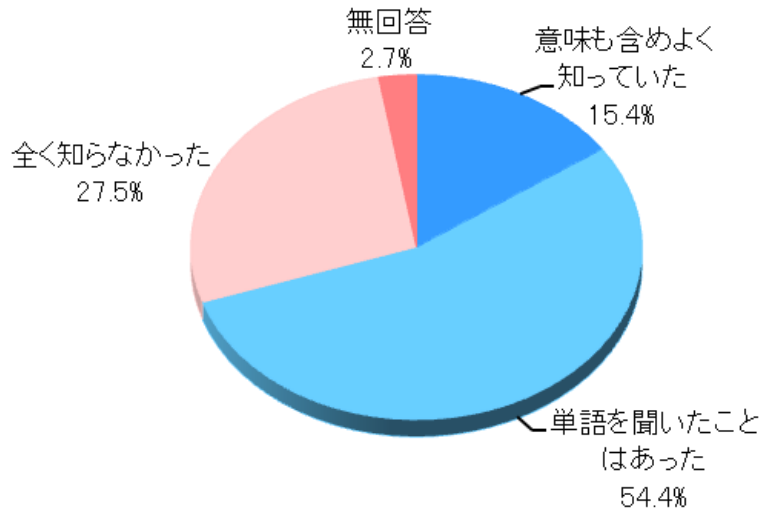
仮設トイレは、一定の世帯件数や地域コミュニティ単位で設置することになると想定されます。
(各箇所1基というわけではありません。)

あなたは、仮設トイレの設置について、どの程度身近に確保されることが望ましいとお考えですか。

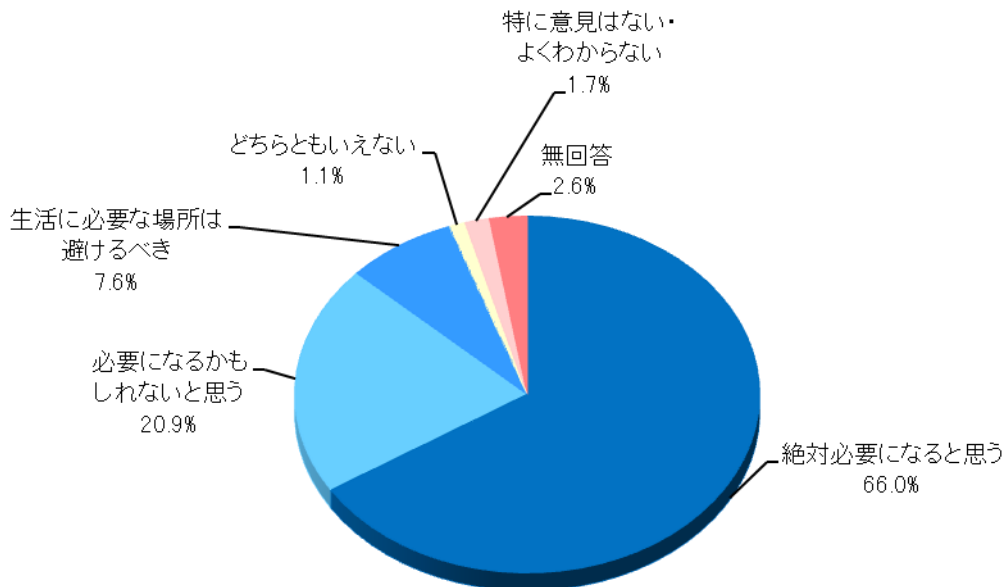


(5) 災害廃棄物の処理施設（仮置場）について

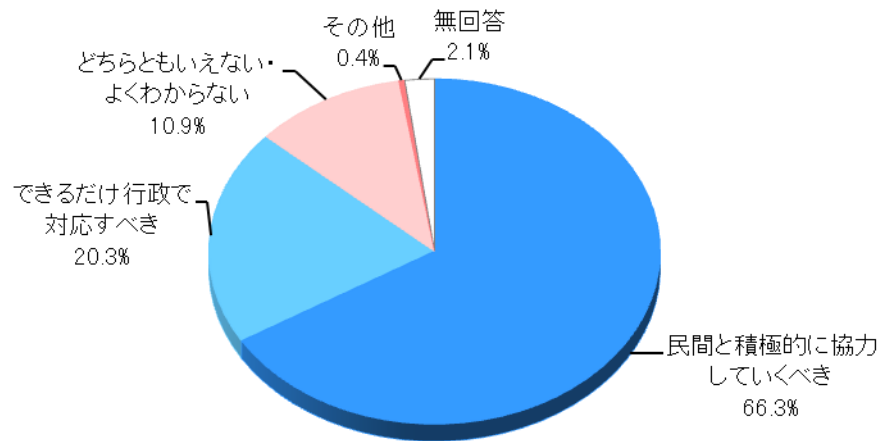
1) あなたは、「仮置場」や「仮設のごみ処理施設」といった災害廃棄物の処理施設に関するキーワードをどの程度ご存知でしたか。



2) あなたは、災害によって廃棄物が大量に発生した場合、仮置場や仮設のごみ処理施設を設置する必要性がどの程度あるとお考えですか。

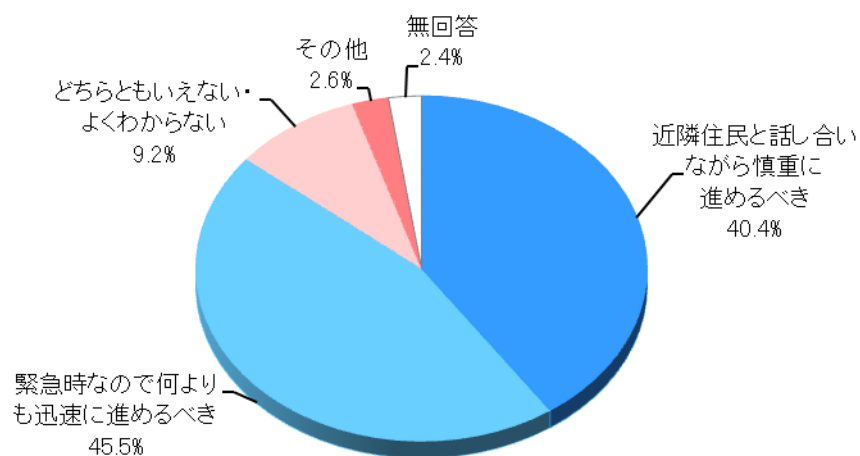


3) あなたは、仮置場や仮設のごみ処理施設を設置する必要がある場合、候補地の選定等で行政が民間の協力（土地の提供等）を仰ぐことについて、どのようにお考えですか。



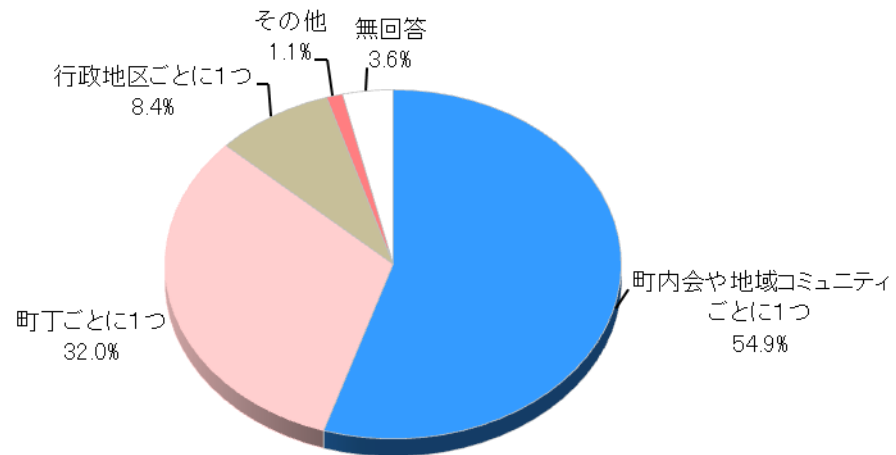
4) 仮置場の設置の進め方について、おうかがいします。

大規模な災害が発生した場合、廃棄物を一時的に保管したり、処理に向けて分別していくためのスペースとして、仮置場が必要となります。こうした仮置場を設置する土地の選定の進め方について、どのようにお考えですか。



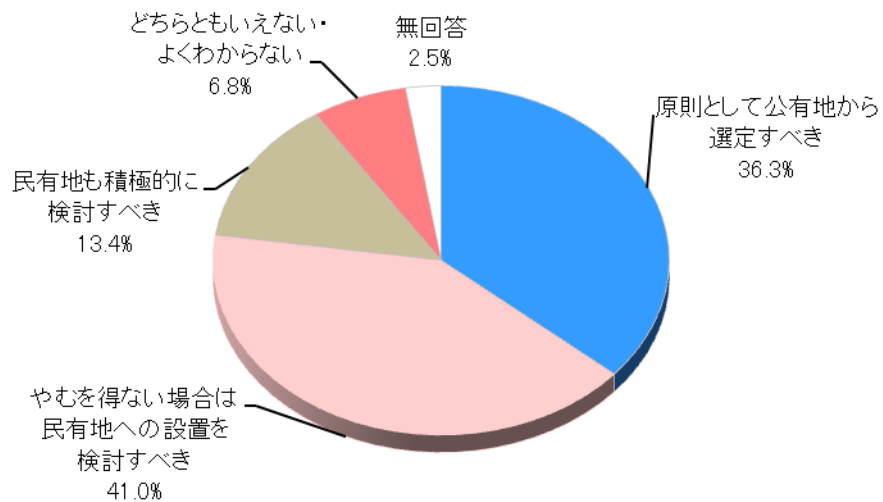
5) 仮置場を設置する場所の数（目安）について、おうかがいします。

発生した災害廃棄物は、まず住民の方々に近くの仮置場（「一次仮置場」と呼ばれます。）に搬入していただいたうえで、さらに大型の仮置場や処理施設へと移し、処理することになります。もし、あなたをご自分の手で災害廃棄物を運搬される場合、どの程度身近に一次仮置場が必要だとお考えですか。



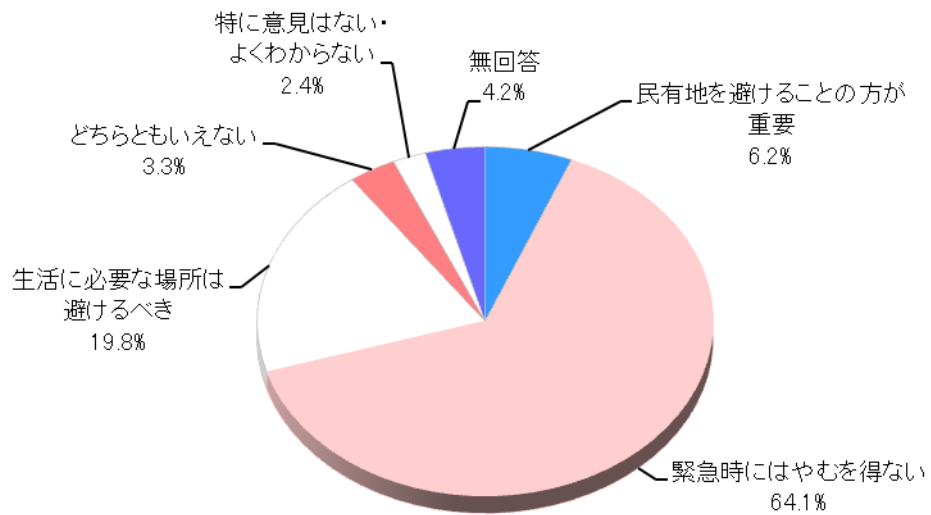
6) 仮置場を設置する場所の選定について、おうかがいします。

仮置場の設置場所は、公有地・民有地も含めて今後総合的に検討することになると考えられます。あなたは、仮置場を選定する場合の公有地・民有地の選択について、どのようにお考えですか。



7) 仮置場を公有地から選定する場合の基準について、おうかがいします。

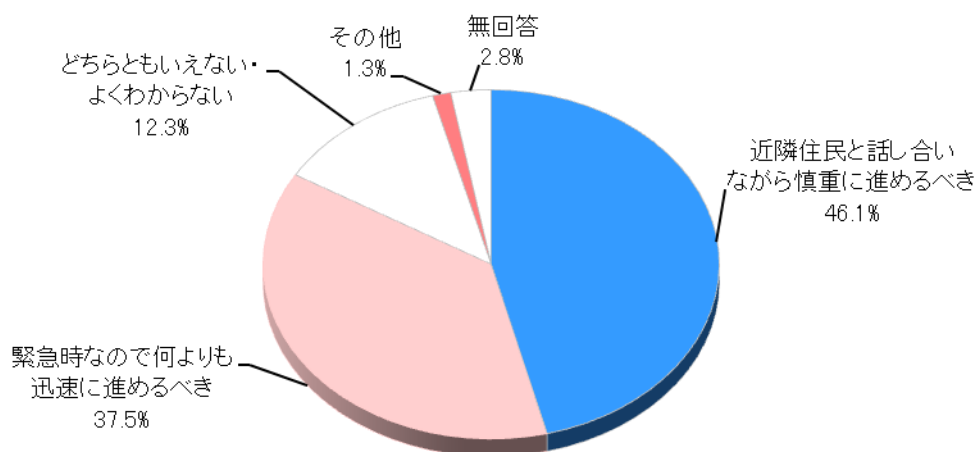
仮置場を公有地から選定する場合、公園など通常の生活を営むうえで利用されている場所、必要な場所も検討対象になることが予想されます。あなたは、このような場合の仮置場の設置について、どのようにお考えですか。



(6) 災害廃棄物の処理施設（仮設焼却炉等）について

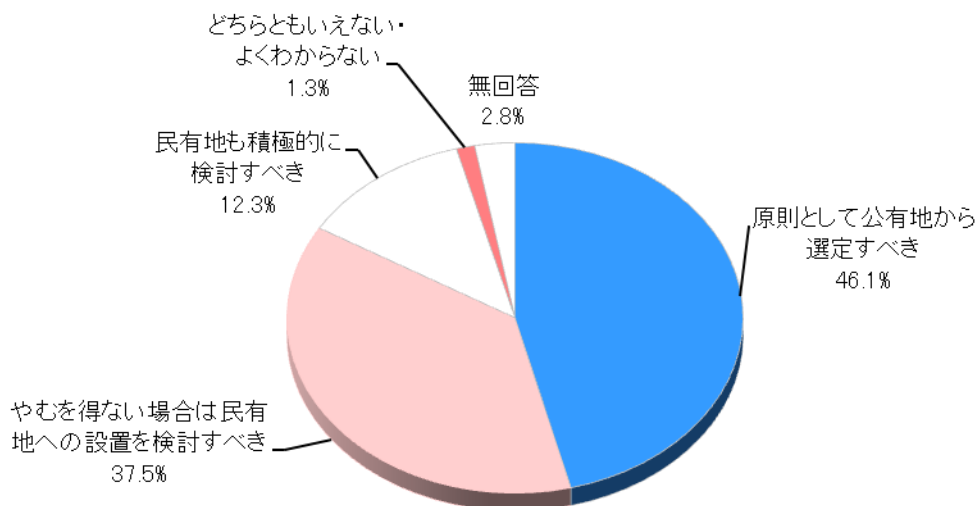
1) 仮設焼却炉など、仮設のごみ処理施設の設置の進め方について、おうかがいします。

大規模な災害が発生し、既存のごみ処理施設だけでは廃棄物を処理できない場合、仮設ごみ処理施設の整備が必要になる場合があります。こうした仮設ごみ処理施設を設置する場合の土地の選定の進め方について、どのようにお考えですか。



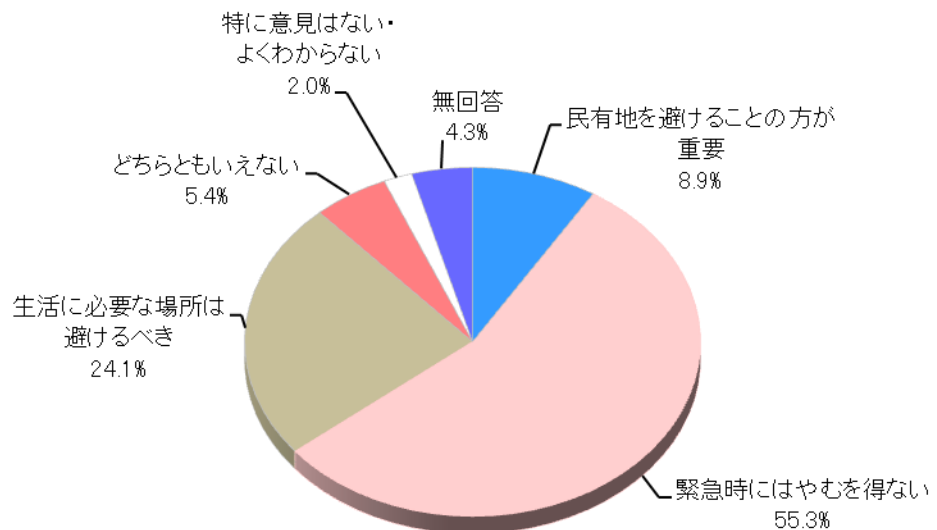
2) 仮設のごみ処理施設を設置する場所の選定について、おうかがいします。

こうした仮設ごみ処理施設の設置場所は、公有地・民有地も含めて今後総合的に検討することになると考えられます。あなたは、仮設ごみ処理施設を設置する場合の公有地・民有地の選択について、どのようにお考えですか。



3) 仮設ごみ処理施設を設置する土地を公有地から選定する場合の基準について、おうかがいします。

設置場所を公有地から選定する場合、公園など通常の生活を営むうえで利用されている場所、必要な場所も検討対象になることが予想されます。あなたは、このような場合の仮設ごみ処理施設の設置について、どのようにお考えですか。

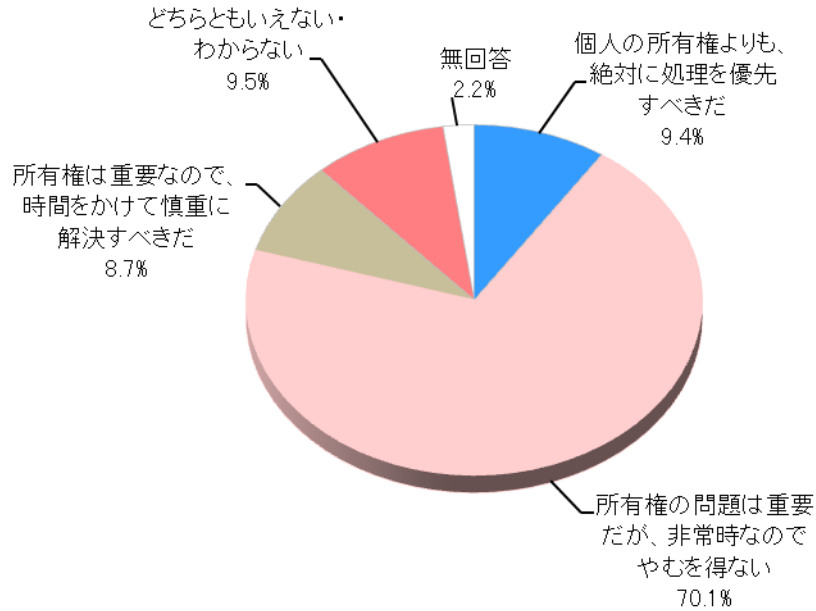


(7) 災害が原因で発生した廃棄物の処理方法について

1) 災害廃棄物の処理の進め方について、おうかがいします。

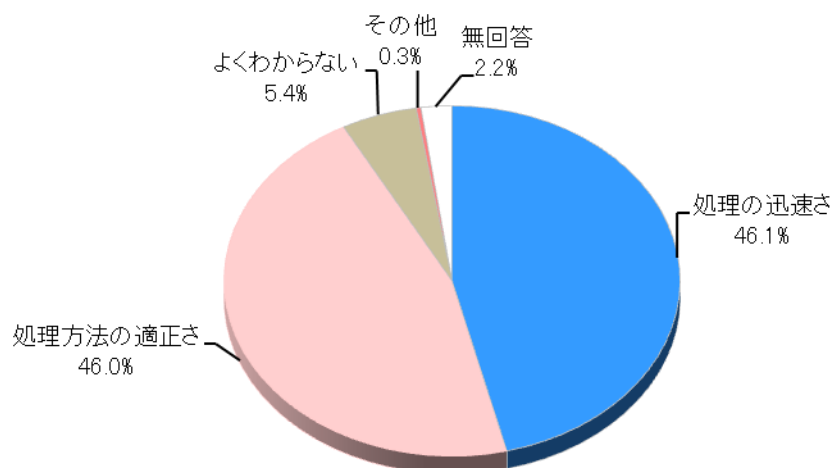
建物等のがれきや放置自動車などに代表される災害廃棄物は、元々は個人が所有していた財産であるため、処理・処分するには法律上の「所有権」との調整の問題が生じます。

あなたは、この問題について、どのようにお考えですか。

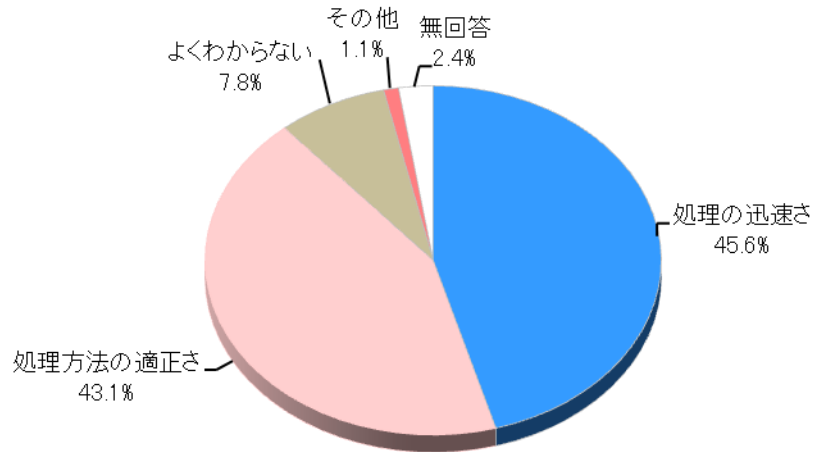


2) 主要な災害廃棄物のうち、地震や津波等により倒壊したり、使用不能になった建物等のがれきの処理についておうかがいします。

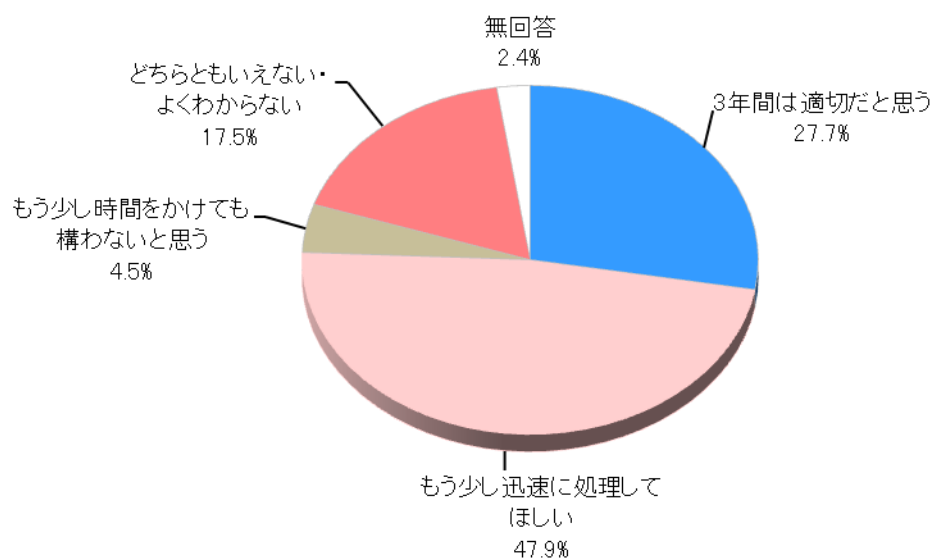
あなたは、こうしたがれきの処理について、どのような要素を最も重視されますか。



- 3) 主要な災害廃棄物のうち、地震や津波、浸水で使用不能になったり、乗り捨てられて持ち主が分からなくなったまま放置された自動車の処理についておうかがいします。
あなたは、こうした放置自動車の処理について、どのような要素を最も重視されますか。

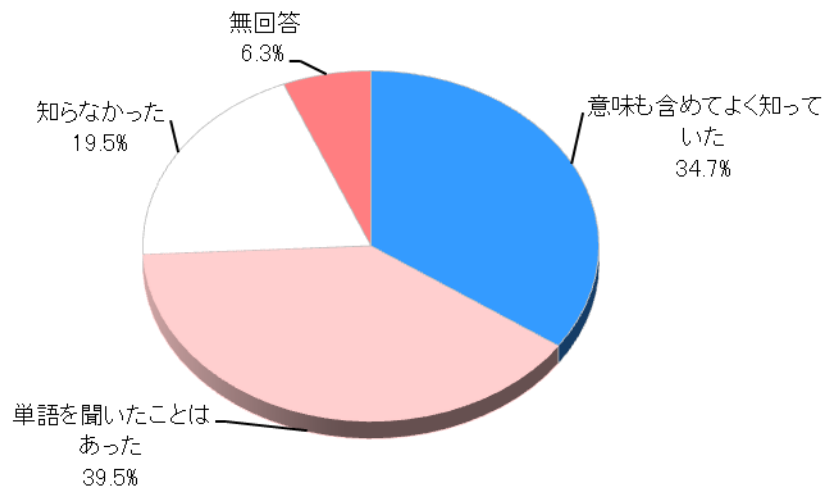


- 4) 災害廃棄物の処理の時間について、おうかがいします。
国の「災害廃棄物処理指針」や県の「災害廃棄物処理計画」では、災害廃棄物や津波堆積物を処理する期間として、およそ「3年間」という目標期間が示されています。
あなたは、災害廃棄物の処理にかける期間について、どのようにお考えですか。

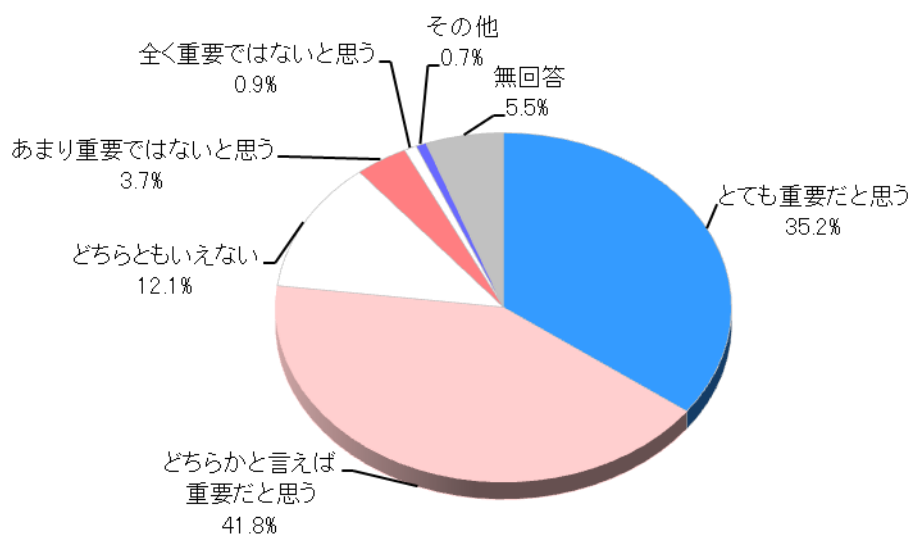


(8)「思い出の品」の取扱いについて

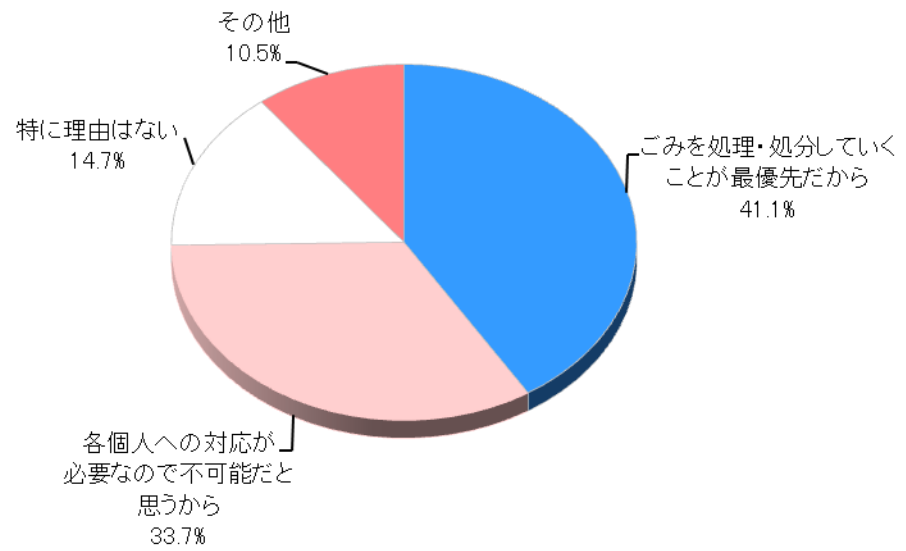
1) あなたは、「思い出の品」というキーワードについて、どの程度ご存じでしたか。



2) 「思い出の品」については、東日本大震災の際は、発見された場合は丁寧な処理を施し、できる限り所有者や家族などに返還できるような措置がとられました。徳島市でも、県の災害廃棄物処理計画の指針に基づいて、こうした「思い出の品」の取扱いを検討していく予定です。あなたは、「思い出の品」の取扱いについて、どの程度重要だとお考えですか。

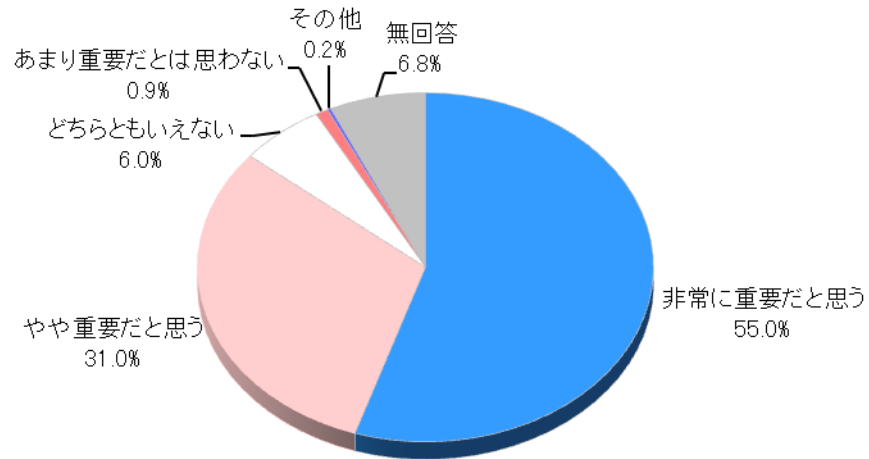


3) 上記2)の質問で「あまり重要ではないと思う」または「全く重要ではないと思う」を選んだ方に、おうかがいします。
あなたがそのようにお考えになる理由をお答えください。

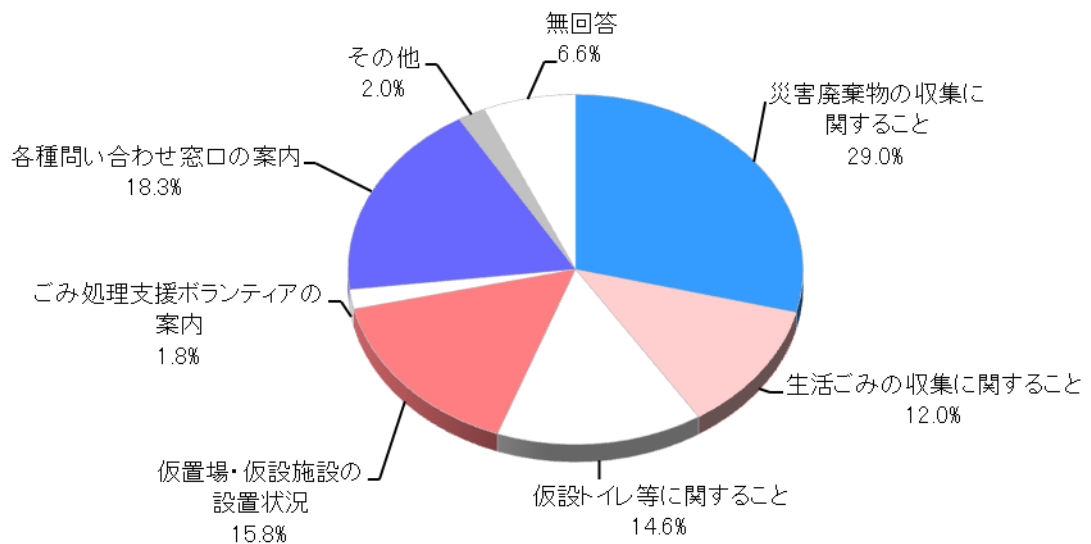


(9) 災害時の廃棄物処理に関する広報体制について

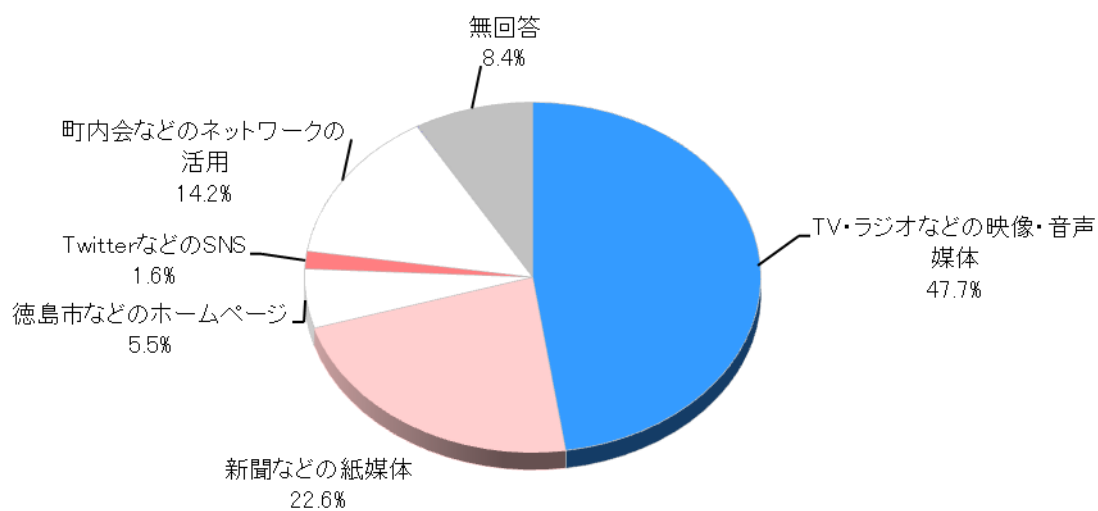
1) あなたは、災害廃棄物の処理に関連する広報体制を充実させることについて、どの程度重要性が高いとお考えですか。



2) あなたは、実際に災害廃棄物の処理に関連する広報が行われる場合、どのような項目を重点的に広報すべきとお考えですか。



3) あなたは、実際に災害廃棄物の処理に関連する広報が行われる場合、どのようなメディア・媒体を活用して広報を行うべきとお考えですか。



(10) 災害廃棄物の処理全般や処理計画の策定に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

(いただいたご意見を抜粋して掲載します。文面については、できるだけそのまま掲載していますが、意味を損ねない程度に修正して掲載している場合があります。)

○大きな災害が発生しないで欲しいと願っているが、行政の方々がこのように対策に取り組んで計画を色々されていることを多くの県民、市民が知って協力することが大切で必要だと思った。

○災害が発生した時、トイレの衛生面の心配と水道の飲み水と手洗いなどが気掛かり。ゴミの一時置き場など、市民でできる事は話し合いなど町内会を通じて普段から考える事が重要だと思う。

○東日本大震災の際に、大量の災害廃棄物の処理をするにあたり、他県に依頼したが拒否されたケースが度々報じられた。本県においても処理能力に限界があり、他県の援助は必要。あらかじめ協力体制を依頼するなど対策が必要。他県も同じことが起きる為、相互の関係を強化すべきだと思う。

○災害廃棄物の処理については緊急を要するものであり、ある程度の私有権を害することがあっても仕方のない事だと思う。

○近々起こるであろう南海トラフ巨大地震。記憶に新しい東日本大震災。自分達の想像をはるかに超える自然災害。そういった緊急事態に備える取組みは素晴らしいと思う。緊急事態でも行政が迅速に的確に処理を進めてくれれば市民は少しでも安心して生活できると思う。”無知”である事が一番怖いと思う。緊急時であれば、進んで土地の提供などもしていきたいと思っている。

○災害時にはスピード、安心、安全が重要だと思う。特に仮設トイレの確保、災害時の季節にもよるが病原菌(伝染病)の蔓延等(女性には生理用品、子供おむつ)が重要だと思う。正しい情報、広報は大切。窓口の充実をお願いする。

○自分が住んでいる居住地区に、住民への相談なく処理施設が整備されるのであれば、それなりの補償も必要になってくると思う。公報に関しては、地域のイベントなどでブースを設け、仮設トイレや処理施設について説明して頂けるとより実感がわくと思う。

○普段、こういったことに時間を使って考える事がないので、今回のアンケートが良いきっかけとなった。今後とも良い徳島作りをお願いする。

○このアンケートが届くまで災害廃棄物処理計画についてあまり関心がなかったが、回答することで災害が発生したら…と深く考えることができた。地震などに備える”防災”は意識しているが、“災害後”のことも考えておくべきだと痛感した。処理計画は早急に作成すべきだと思う。

○計画は机上のものでなく実践的なものとなるよう期待している。